

学校関係者評価委員会報告書

令和5年
秋田県立衛生看護学院

令和4年度自己点検・自己評価結果をもとに、次のとおり学校関係者評価を実施しましたので報告します。

<学校関係者評価委員会の開催>

日時:令和5年8月31日(木)13:30~15:00

場所:秋田県立衛生看護学院 会議室

出席者:学校関係者評価委員(6名)

本学院の実習施設職員	1名
学院卒業生	3名
看護教育に関し知見を有する者	1名
地域代表	1名
学院長	
事務局 本学院自己点検自己評価委員	8名

自己点検・自己評価項目ごとの学校関係者評価委員からの評価・意見・助言等

I 教育課程・教育活動 その1、その2	・教員の研究活動の評価が低く、研究活動の時間の確保はすごく難しいと思うが、連携し時間の確保等を行ってほしい。 ・保健科において、学生から授業時間以外のグループワーク等の時間が多く負担が大きいとのことに対し、調整により学生の負担軽減が図れるのではないか。 ・保健科のコピー代や助産科のアパート代に経済的負担を感じている学生がいる。何か工夫は出来ないか。
II 学校運営	・意見、助言等はなし
III 学生支援	・意見、助言等はなし
IV 教育環境	・教育環境として、実際に夏に講義をした際も暑く、この環境で授業をするのは厳しい。学ぶ環境を整える必要がある。 ・図書室の開室時間を拡大してほしいとの意見があり、予算を確保し開室時間を延長(R5より)できよかった。
V 学生の受入募集	・看護科の入学生が定員を満たしておらず、定員を確保してほしい。
VI 学修成果	・意見、助言等はなし
VII 社会貢献	・図書室は卒業生等外部の方にも開放しており、活用していきたい。

<まとめ>

今回、学校関係者評価委員の皆様からは、学院の運営等について、大きな教育的課題の御指摘はありませんでした。

教育環境という点では、冷暖房の調整等について学生が快適な環境で学習できるよう努めていきたいと考えております。

また、学校関係者評価委員の皆様からいただいた御意見・御助言を真摯に受けとめ、学校運営に生かしていくとともに、今後も質の高い教育活動のために教職員が連携し、取り組んで参りたいと考えております。

御協力ありがとうございました。